

名詞・形容詞・動詞

名詞・形容詞・動詞とは

名詞 = 人・物・事 などの名前を表す語。

〈例〉先生 (teacher) / サッカー (soccer) / 1月 (January)

形容詞 = 名詞を説明する語。語尾の多くは「～い / ～な / ～の」。

〈例〉小さい (small) / きれいな (beautiful) / 紫色の (purple)

【ポイント！ 名詞に形容詞が足される場合は「形容詞＋名詞」】

〈例〉小さい教室 = small classroom

大きなテレビ = big TV

*ここでは、混乱を避けるため a/an/the といった冠詞は省略しています。

動詞 = 動作や状態を表す語。基本的に「う段」の音で終わる。

〈例〉食べる (eat) / 走る (run) / 勉強する (study)

問題1 次の単語を名詞、形容詞、動詞に分けましょう。

- (1) 楽しい (2) テニス (3) 訪ねる
(4) オリンピック (5) 遊ぶ (6) 豪華な

名詞 = (2) (4) 形容詞 = (1) (6) 動詞 = (3) (5)

【解説】「オリンピック」は式典の名前、「テニス」はスポーツの名前なので名詞。「楽しい」「豪華な」は名詞を説明する語なので形容詞。「訪ねる」「遊ぶ」は動作を表すので動詞。

問題2 次の日本語を名詞、形容詞、動詞に分けましょう(「が」「は」などの助詞は無視してください)。

- 〈例〉私が話す。 名 = 私 形 = × 動 = 話す
(1) 幸せな生活。 名 = 形 = 動 =
(2) フミカが買う。 名 = 形 = 動 =
(3) タロウは賢い。 名 = 形 = 動 =

- (1) 名 = 生活 形 = 幸せな 動 = × (2) 名 = フミカ 形 = × 動 = 買う
(3) 名 = タロウ 形 = 賢い 動 = ×

問題3 次の英語を形容詞と名詞に分けましょう。

- 〈例〉new desk 形 = new 名 = desk
(1) red pen 形 = 名 =
(2) yellow bus 形 = 名 =
(3) old food 形 = 名 =

- (1) 形 = red 名 = pen (2) 形 = yellow 名 = bus (3) 形 = old 名 = food

【解説】〈例〉は「新しい机」という意味。(1)「赤いペン」という意味。(2)「黄色いバス」という意味。(3)「古い食べ物」という意味。



未来形 2 : will

will 肯定文

will は、助動詞(canみたいな単語)で「～する予定」「～するつもり」などと主に訳されます(be going to と似ている)。

【基本の形】

主語 + will + 一般動詞の原形 + ~.

(～する予定です) (～するつもりです) (～するでしょう)

〈例〉 I will study math. (私は数学を勉強する予定です)

【作り方】

1. be going to の肯定文を作る。
2. be going to の部分を will にする。

〈例：私は数学を勉強する予定です〉

1. be going to の肯定文を作る。

I am going to study math.

2. be going to の部分を will にする。

I will study math.

be going to と will の違い

【be going to が主に使われるケース】

1. 話す前からすでにある程度、することが決まっている時(予定)

He is going to buy a new TV. (彼は新しいテレビを買う予定です)

〈もうすでに買うことがある程度決まっている状態〉

2. 話し手が「そうなるだろう」と判断している時

It is going to rain soon. (もうすぐ雨が降りそうです)

〈黒い雲があるなど、雨がすぐに降ることを予想している〉

【will が主に使われるケース】

1. 自分の意思を表す時

I will buy a new TV. (私は新しいテレビを買うつもりです)

〈「新しいテレビを買うぞ」という自分の意思が含まれている〉

2. 単純な未来。自然のなりゆきで起こる未来

It will rain this Sunday. (この日曜日は雨が降るでしょう)

〈ただ雨が降るだろうという意味。特別な感情はない〉

最初は、ざっくり「be going to = ある程度決まっている予定」「will = 意思」とだけ覚えておけば十分です。また、違いを覚えるには、Will you marry me? (結婚してくれますか)を覚えておくとい良いでしょう。これには、自分(相手)の意思が含まれているため will が使われます。もし Are you going to marry me? では「あなたは、私と結婚する予定なのですか」と、結婚する気があまり感じられないプロポーズになってしまいますので注意してくださいね(笑)。

【問題1】 次の()にあてはまる単語を書きましょう。

- (1) 私はあの機械を20分後に止めます。

I () () () machine () 20 ().

- (2) 彼は今晚あなたに電話をしようと思うので、準備しておいて。

() think () () () you (), so
() ready.

- (3) あなたは、明日あなたの英語の教科書が必要でしょう。

You () () () () textbook ().

文型を構成する4つの要素

英語の文型を解説する際、よく S、V、O、C が使われます。

S = 主語 (Subject) **V = 動詞 (Verb)**
O = 目的語 (Object) **C = 補語 (Complement)**

1. S = 主語 (Subject)

- 日本語では「～は」「～が」と主に訳される部分。
- 主に主語になるのは「名詞(「冠詞」「形容詞」などが名詞につく場合も含める)」「代名詞」。

〈例〉 He plays soccer. 【S = He】(彼は、サッカーをします)
 My dog likes it. 【S = My dog】(私の犬は、それが好きです)
 Teaching is fun. 【S = Teaching】(教えるのは、楽しいです)

2. V = 動詞 (Verb)

- 日本語では「～です」「～します」と主に訳される部分。
- 主に動詞となるのは「be動詞」「一般動詞」「動詞のフレーズ(進行形、助動詞+動詞など)」。

〈例〉 She is a teacher. 【V = is】(彼女は教員です)
 I will eat it. 【V = will eat】(私はそれを食べる予定です)

3. O = 目的語 (Object)

- 動詞が表す動作などの対象となる語。
- 主に一般動詞の文に登場する (be 動詞の文には登場しない)。
- 主に目的語になるのは「名詞(「冠詞」「形容詞」などが名詞につく場合も含める)」「代名詞」。

〈例〉 He needs a camera. 【O = a camera】(彼はカメラが必要です)
 〈「必要なのは何か? → カメラ」となる〉
 I like eating. 【O = eating】(私は食べるのが好きです)
 〈「好きなのは何か? → 食べる」となる〉

4. C = 補語 (Complement)

- 主語や目的語が「どういうものなのか」「どういう状態なのか」を説明する語。
- 「be動詞の文」や become / look などの「主語の様子を表す動詞の文」に登場する。
- 主に補語となるのは「名詞(「冠詞」「形容詞」などが名詞につく場合も含める)」「代名詞」「形容詞」。

〈例〉 It is a small box. 【C = a small box】(それは小さな箱です)
 〈「それはどんな箱? → 小さな箱」となる〉
 I am hungry. 【C = hungry】(私は空腹です)
 〈「私はどういう状態? → 空腹」となる〉
 She looks tired. 【C = tired】(彼女は疲れて見えます)
 〈「彼女はどういう状態? → 疲れている」となる〉

【ポイント! 副詞や副詞句は修飾語の「M」】

fast や today のような副詞、また at six o'clock のような副詞句 (副詞として使われるフレーズ) は、修飾語の「M (Modifier)」となります (M は、文法の説明ではあまり登場しません)。

〈例〉 He can run fast. (M = fast) (彼は速く走れます)
 We finished this at six o'clock. (M = at six o'clock)
 (私たちはこれを6時に終えました)